香美市における建設業の社会保険等未加入対策について

香美市が発注する建設工事において、建設業の社会保険等未加入対策を推進するため、受注者（元請業者）と直接契約を締結する一次下請業者（建設業者）については、原則として、社会保険等に加入する建設業者に限定する。

1 社会保険等未加入建設業者の定義

「社会保険等未加入建設業者」とは、以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（建設業法（昭和24年法律第100号）第2条第3項に定める建設業者をいい、当該届出の義務がないものを除く。以下同じ。）をいう。

なお、建設業者以外の者との一次下請に係る契約については、この対策の対象ではないが、この対策の趣旨を踏まえ、適正な届出等の要請を行うものとする。

2 事務手続

(1) 一次下請業者の社会保険等加入の確認

契約書に定める監督職員（以下「監督職員」という。）は、受注者から提出された下請負人選定・下請施工通知書に記載された全ての建設業者について、社会保険等未加入建設業者に該当するか否かを確認するものとする。

(2) 一次下請業者が社会保険等未加入建設業者であった場合の対応

ア 監督職員は、提出された施工体制台帳及び添付書類を確認し、一次下請業者が社会保険等未加入建設業者であると思われる場合には、監督職員が所属する課の長（以下「工事担当課長」という。）から契約担当課の長（以下「契約担当課長」という。）に対し、速やかに様式1により契約違反のおそれが発生した旨を報告するものとする。

イ 香美市長は、契約違反のおそれが発生した場合には、受注者に対し、様式2により社会保険等未加入建設業者の社会保険等への加入を要請するものとする。

ウ 受注者は、様式2により指定された期日までに、社会保険等未加入建設業者の社会保険等への加入が完了したときは、様式3によりその旨を香美市長に報告するものとする。

エ 契約担当課長は、様式3を確認し、一次下請業者が社会保険等に加入したと認められる場合には、工事担当課長に対し、様式4よりその旨を通知するものとする。

(3) 工事完成以降の対応

香美市長は受注者から、様式2で指定した期日までに様式3の提出がない場合は、工事が完成した時点をもって、以下の対応を行うものとする。

ア 制裁金の請求

香美市長は、受注者が社会保険等未加入建設業者と締結した契約に係る最終の請負代金額を確認し、その10分の1に相当する額を制裁金として請求する。

イ 指名停止措置

香美市長は、受注者に対し指名停止措置を行う。

ウ 工事成績評定の減点措置

工事担当課は、工事成績評定において別途対応を定め、減点の措置を行う。

附則

- 1 令和7年10月1日以後に入札公告、指名通知又は随意契約のための見積依頼を行う工事（設計金額が200万円を超えるもの。）から適用する。
- 2 附則1の規定にかかわらず、2の(3)のイに規定する対応については、令和8年4月1日以後に入札公告及び指名通知又は随意契約のための見積依頼を行う工事から適用する。